

福祉・健康

Q 発達障害の悩みは市が支えよ

A 市では、様々な支援を行っている



発達支援センターの相談室の様子

問 就学後の支援は。
答 教育センターや県の発達障害総合支援センターで相談を受け付けている。また、学校生活において児童・生徒の困り感に気づいた場合、保護者の合意を得た上で、適切な教育が受けられる学びの場を勧める。また、診断を受け、必要な場合は、障害福祉サービスの支援を行う。なお、放課後等デイサービスと保育所等訪問支援により支援も行っている。

問 就学前の支援は。
答 発育、発達の専門相談である親子相談で、医師、保健師、臨床心理士などの専門職が経過観察し、医療機関や療育機関につなげるなどの支援などを行っている。また、障害福祉サービスの支援が必要な場合は、児童発達支援や保育所等訪問支援をしている。



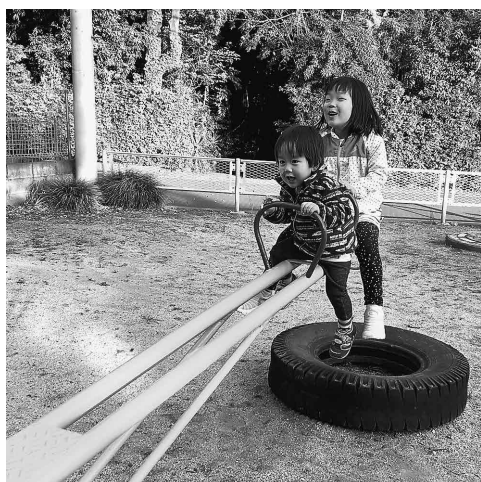
おがわ ひろみ
小川 尋海
議員



教育・文化

Q こどもと共に創る鶴ヶ島の未来

A 地域と共にある学校を目指していく



こどもと共に創る鶴ヶ島の未来

問 地域活動の推進に関する施策は。
答 児童・生徒の見守り活動として、登下校のほか、小学校のまち探検の授業や、中学校の社会体験チャレンジ時の交通誘導など、学校応援団を中心に多くの地域の方に協力をいただいている。また、教育支援として、家庭科の授業でのミシン縫い、読み聞かせなど、地域の方に行っていたいっている。このような交流は、地域の方々の学校理解や学校を核とした地域の活性化にもつながっている。

問 地域と共にある本市の教育の将来像は。
答 こどもによって地域が生かされ、地域によってこどもが育まれていく、地域とともにある学校である。今後もしこどもたちが健やかに成長できるよう、学校、家庭、地域と連携し、地域と共にある学校を目指していく。



むらかみ しんきち
村上 信吉
議員



教育・文化

Q こどもたちのためにも教員の負担軽減を

A 学校全体の業務改善に取り組む



教員の負担軽減へ

教員の過重労働や過度な要求をしてくる保護者への対応は教員のメンタルヘルスに深刻な影響を及ぼしている。また、教員の自腹問題も新たに浮上している。

これらの問題は、教員のなり手不足や離職、教育の質、こども達の学びや安心して学べる環境に影響を及ぼす重大な課題である。

問 教員負担の現状把握と対策は。
答 ストレスチェックや休暇の取得状況などを確認し、校長による面談を行っている。勤務時間外の在校時間は年々減少しているものの、心理的な仕事の負担が量、質ともに高くなっている。校務支援システムの導入による事務処理の効率化など、学校全体の業務改善に取り組むとともに、個々の状況に応じた対応を行っている。



ふくしま めぐみ
福島 恵美
議員

